

AudioComm®

取扱説明書

ワイヤレスラウンドスピーカー

型番：ASP-W120N-W 品番：03-2298
ASP-W120N-K 03-2299



このたびは、**AudioComm®**ワイヤレスラウンドスピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

【使い始める前に】 本製品には以下のものが含まれています。お使いの前に、必ず内容をお確かめください。

●スピーカー本体

●専用充電コード

●外部音声入力コード

●ストラップ

●保証書

●取扱説明書（本書）

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

充電式電池について

絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。

- 充電式電池（リチウムポリマー電池）は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

主な仕様	
電源	DC5V(USB給電：microUSB入力端子)
内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池(3.7V 1200mAh)
実用最大出力	3.6W
再生周波数帯域	110Hz～20kHz
スピーカー	口径45mm(4Q)フルレンジ x1、パッシブラジエーターx1
SN比	≥80dB
接続端子	外部音声入力(φ3.5mmステレオミニジャック)
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.5.1 (TWS機能搭載)
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
変調方式／周波数帯域	GFSK ／ 2.402～2.480GHz
最大通信距離	見通し 約10m(Class2)
充電時間	約3時間(残量ゼロからフル充電まで)
音楽再生可能時間	約25時間(50%音量)
許容動作温度／湿度	温度：0～40℃ 湿度：20～80%(結露なしにて)
外形寸法	幅75×高さ90×奥行75mm(突起物を除く)
質量	約247g
付属品	専用充電コード、外部音声入力コード、ストラップ、保証書、取扱説明書

※最大通信距離、充電時間、連続再生時間は目安であり、使用状況によって異なります。また、充電時間は充電器の容量によって充電時間が長くなる(もしくは短くなる)場合があります。

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

※記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

※取扱説明書のイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

お手入れのしかた

※必ず電源を切ってから行なってください。

●本機の表面が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後乾拭きをしてください。

●シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

**危険**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。

**禁止**

充電式電池（リチウムポリマー電池）が液もれしたときは、素手で触らない

●本製品には充電式電池（リチウムポリマー電池）が内蔵されています。万一、液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。

●万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。

●液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

**22cm以上離す**

心臓ペースメーカーなどの医療機器を使っているときは装着部位から22cm以上離す

●電波により心臓ペースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

**接触禁止**

雷が降り始めたら、安全のため、本機及び充電コードに触れない

●感電するおそれがあります。

**使用禁止**

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに使用を中止する

●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。

万一、内部に異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する

●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。

**分解禁止**

分解、修理、改造しない

●火災・感電の原因となります。

**禁止**

自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない

●高温になると、危険を防止するため充電式電池（リチウムポリマー電池）が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。

本機や充電コードの上に重いものをのせない

●破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。

充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

●コードが破損して火災・感電の原因となります。

航空機内や医療機器の近くで使わない

●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。

付属の充電コード以外では充電しない

●火災や感電、機器の故障の原因となります。

火の中に入れない

●本製品には充電式電池（リチウムポリマー電池）が内蔵されており、誤って火中に入れると、発熱、破裂、発火の原因になります。

**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

**保管場所に注意**

小さなお子様の手の届かないところに保管する

●思わぬ事故を招くことがあります。

**音量は小さく**

長時間、大音量で聴き続けけない

●聴力障害などの原因となることがあります。

**ぬれた手禁止**

ぬれた手で操作しない

●故障や感電の原因となることがあります。

**水かけ禁止**

浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない

●感電や故障の原因となります。

**禁止**

暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない

●破損・故障の原因となります。

振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない

●落下してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。

充電コードを熱器具に近づけない

●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

**禁止**

キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない

●内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。

ほごりの多い場所に置かない

●火災・感電の原因となることがあります。

シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない

●変形・変色の原因となります。

自動制御機器（自動ドアや火災報知器など）の近くで使わない

●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。

充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない

●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●必ずプラグ部を持って抜いてください。

日本国以外では使用しない

●本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。

●国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

Bluetoothについて

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、無線通信により、音楽や通話を楽しむことができます。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本製品は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本製品のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本製品の性能・機能が制限される場合があります。

【対応バージョン】

Bluetooth標準規格 Ver.5.1

【対応プロファイル】

- ・A2DP(高音質な音楽コンテンツを送信するためのプロファイル)
- ・AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)

●本製品はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

通信可能範囲について

Bluetoothの通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

セキュリティについて

本製品はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本製品の機器認定について

本製品は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本製品を分解・改造する行為は、法律により罰せられることがあります。本製品は日本国内でのみ使用できます。

 204-B00562

使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

- 1.ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3.そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

医療機器近くで使用する際は、特に注意してください

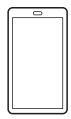
- 使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では、絶対に使用しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本製品を22cm以上離して携行及び使用してください。電波により、ペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
 - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
 - ・病棟内では本製品を使わない。
 - ・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
 - ・その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本製品をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

TWS(True Wireless Stereo)機能について

2つのスピーカーをBluetoothによりペアリングすることで、左右独立したステレオサウンドを実現する機能です。本機はこの機能に対応しています。

ただし、TWS機能を使うには、本機を2台用意していただく必要があります。

●本機を単独でBluetooth接続した場合、音声はミックス出力(モノラル)となります。

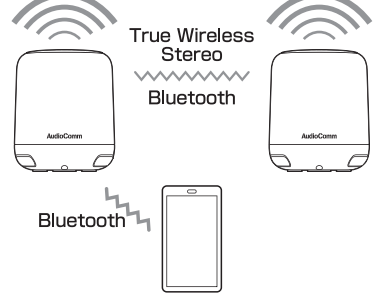




ミックス出力(モノラル)

Bluetooth

●TWS(True Wireless Stereo)機能を使うと、左右のチャンネルを各スピーカーに割り当て、広がりあるステレオサウンドを楽しむことができます。



保証書とアフターサービスについて

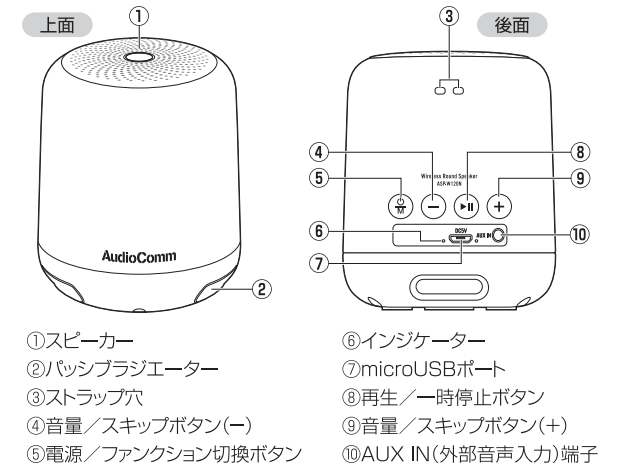
保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

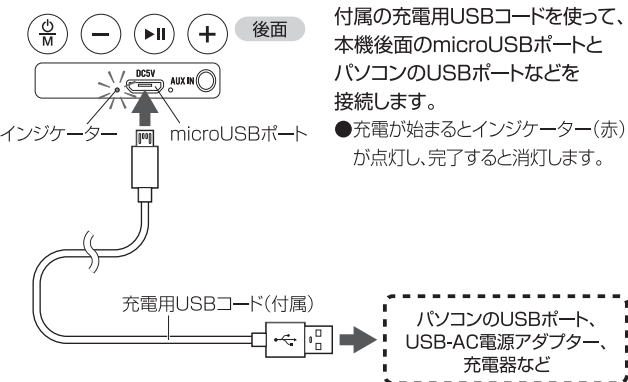
アフターサービスについて

- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

各部の名称

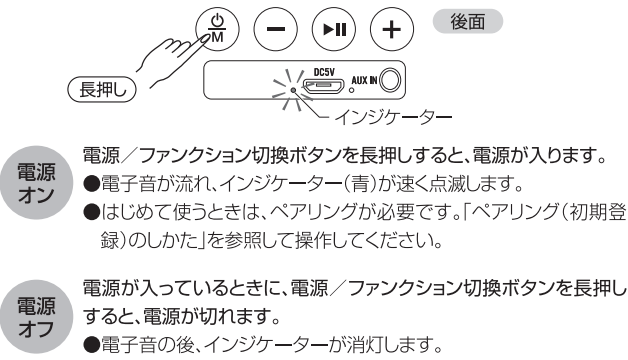


充電のしかた



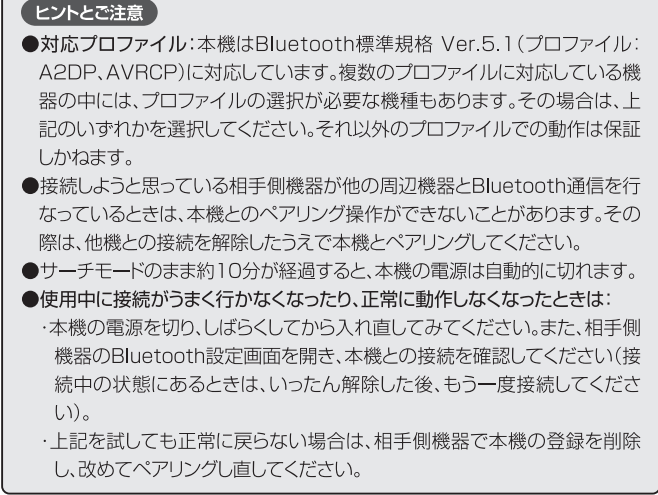
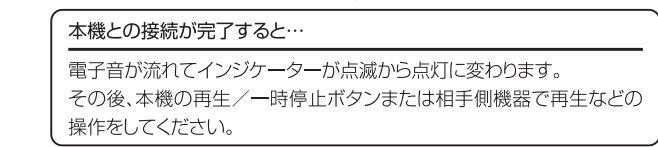
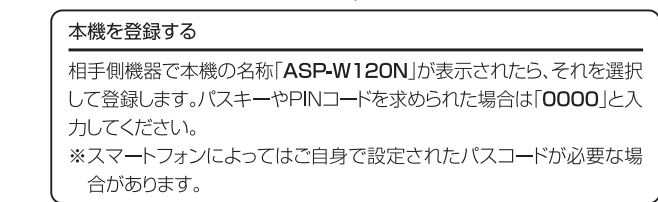
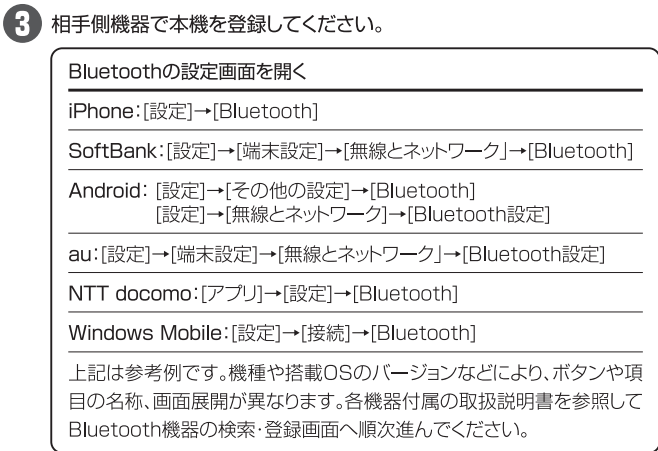
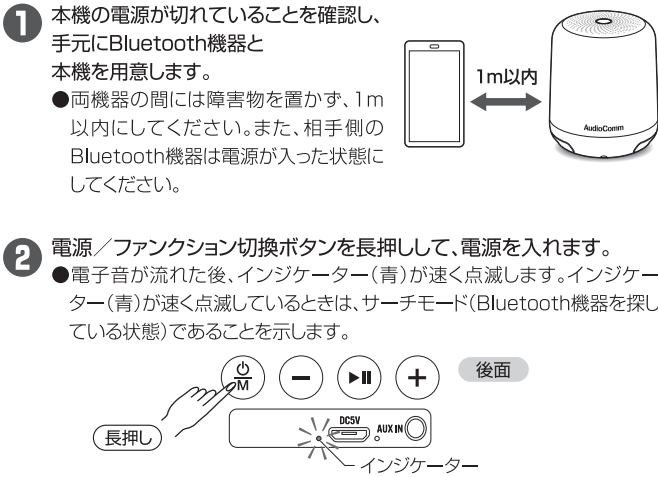
- ヒントとご注意**
- はじめてお使いになるときは、十分に充電してからご使用ください。
 - 本機は充電中でも使用可能ですが、充電にかかる時間が長くなります。また、充電と同時にお使いの際は、音量が多少不安定になることがありますが、故障ではありません。
 - 充電には必ず付属の充電用USBコードをご使用ください。また、付属の充電用USBコードは他の製品には使用しないでください。
 - 本機をパソコンで充電するには、電源供給ができるUSBポートに接続する必要があります。また、本機とUSBポートは直接つないでください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。
 - 充電中にパソコンが省電力モードになると正しく充電されませんのでご注意ください。
 - 家庭用コンセントで充電する場合はUSB-AC電源アダプター(別売)をご利用ください。
 - 残量ゼロからフル充電まで約3時間かかります。十分に充電したにもかかわらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
 - 許容動作環境(温度:0～40℃、湿度:20～80% 結露なしにて)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していてもインジケーターが消灯することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社お客様相談室にご連絡ください。
 - 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

電源のオン／オフ



ペアリング(初期登録)のしかた

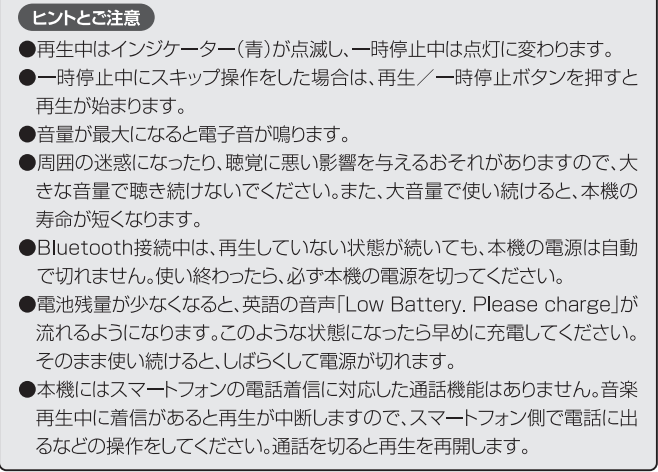
ペアリングとは、本機をBluetooth機器(相手側機器:スマートフォン、パソコン、Bluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に初期登録する操作のことです。●はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。



オーディオコントロール

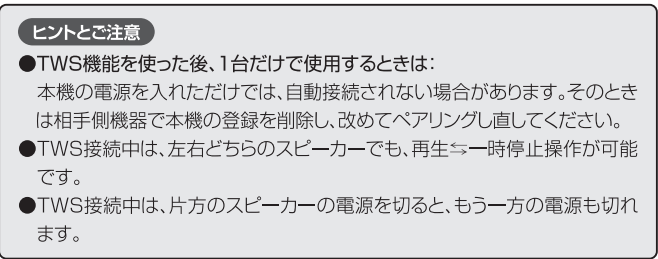
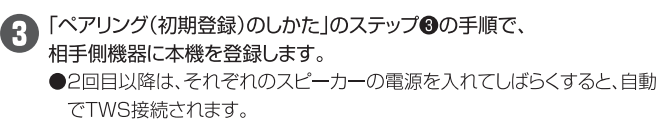
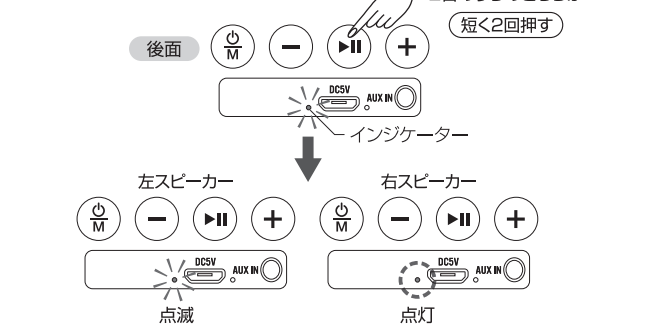
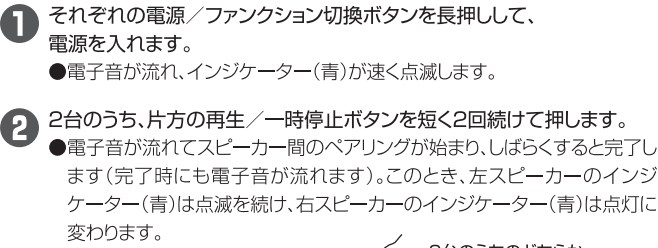
Bluetoothで接続しているときの各ボタンの機能は、以下のとおりです。ただし、接続する機器や再生アプリなどにより、動作が異なっていたり、操作できない場合があります。

ボタン	短く押す	長押し
電源／ファンクション切換ボタン	Bluetoothと外部音声入力を切り換える	電源を切る
音量／スキップボタン(－)	音量を下げる	曲の先頭に戻って再生。続けて長押しすると、前の曲を再生
再生／一時停止ボタン	再生↔一時停止	――
音量／スキップボタン(＋)	音量を上げる	次の曲を再生



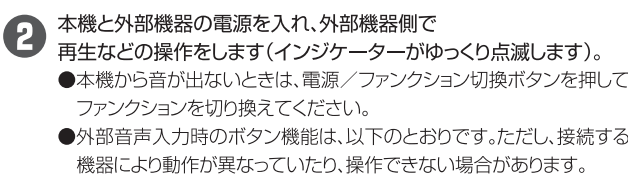
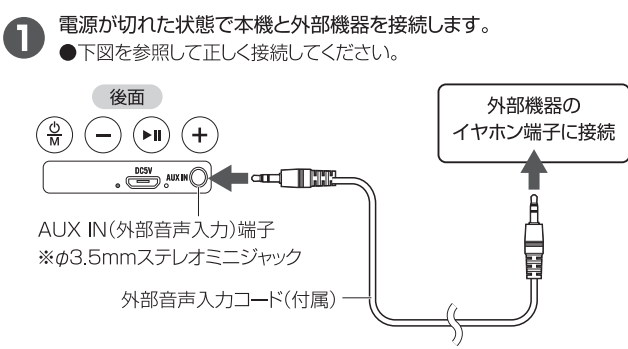
TWS機能を使うときのペアリング方法

- TWS機能を使うには、本機を2台をご用意ください。
- すでに任意の相手側機器とペアリング済みの場合、TWSのペアリング(スピーカー間のペアリング)ができないことがあります。その場合は、相手側機器で本機の登録を削除してから以下の操作をしてください。



AUX IN (外部音声入力)端子を使う

Bluetoothに対応していない外部機器(ポータブルCDプレーヤーなど)の場合は、外部音声入力コード(付属)を使って本機と接続することにより、音楽を楽しむことができます。音声はミックス出力(モノラル)です。※TWS機能との併用はできません。



ボタン	短く押す	長押し
電源／ファンクション切換ボタン	Bluetoothと外部音声入力を切り換える	電源を切る
再生／一時停止ボタン	消音(再生自体は止まりません)	――

※外部音声入力時は、音量／スキップボタン(－/＋)は動作しません。

ストラップの取り付けかた



故障かなと思ったら

- 充電できない
 - ・充電用USBコードを使って、本機とmicroUSBポート、USB-AC電源アダプターなどが正しく接続されていますか。
 - ・付属品ではない充電用USBコードを使用していませんか。
- 電源が入らない
 - ・十分に充電しましたか。
 - ・電源／ファンクション切換ボタンを長押ししましたか(短く押していませんか)。
- ペアリングができない
 - ・相手側機器の電源は入っていますか。
 - ・相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。
 - ・相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れすぎていませんか。
- Bluetooth接続ができない
 - ・本機及び相手側機器の電源は入っていますか。
 - ・相手側機器が他の機器と通信していませんか。
 - ・相手側機器がスリープ状態になっていませんか。
 - ・相手側機器内で本機の登録が削除されていませんか。
- 音が出ない
 - ・ペアリングは行ないましたか。
 - ・相手側機器の音量が最小になっていませんか。
 - ・相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れすぎていませんか。
- ノイズやエコー音がる
 - ・相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れすぎていませんか。
 - ・無線通信を阻害する電磁波や無線LAN環境の近くで使用していませんか。
- AUX IN(外部音声入力)時に音が出ない
 - ・本機と外部機器が正しく接続されていますか。
 - ・外部機器の音量が最小になっていませんか。
 - ・電源／ファンクション切換ボタンを押してファンクションを切り換えてみてください。